



西浜通信



令和7年7月18日
茅ヶ崎市立西浜小学校
校長 山本 哲史

【学校教育目標】

人間性豊かでたくましく主体的に行動する児童の育成

～すすんでやる子 がんばる子 思いやりのある子～

自分も人も大切に・・・“笑顔あふれる西浜小学校”をめざして

いよいよ明日から、夏休みが始まります。6月下旬からの状況を考えると、すでに酷暑で、もう夏休みなのでは？といったような環境でした。その中を、学習に遊びに習い事にと、さまざまなことに取り組んでいた子どもたちは、本当にすばらしいです。

しかし、がんばりすぎてしまい、自分自身で気がつかないうちに、体や心が悲鳴をあげているかもしれません。ですから、体と心のリフレッシュも、この夏休みにおこなうことの一つとして考えることも大切です。だからと言って、遅寝遅起きなど普段と違いすぎることをしても、体や心は悲鳴をあげてしまいます。また、不規則な生活リズムは、その時は楽しいのかもしれませんが、その後はとてもつらくなり、回復するのに多くの時間を費やします。学校でも、子どもたちの成長具合に応じて話をしましたが、ぜひ、ご家庭でもお子様と、「夏休みの過ごし方」、「生活リズムはどうするのか」などについてお話しいただき、有意義な44日間をお過ごしいただければと思います。

有意義な夏休みとするためにも、この夏休みの目標をたててほしいです。小学生だと、目標をたて、達成するためにどのように取り組んでいくか、過ごしていくかを決めていくには、まだまだ保護者（大人）の支援・助言等がないと、難しいことかもしれません。保護者の皆様には、ぜひお子さんと夏休みの目標を話し合い、それを最後まで続けられるよう励ましのお声かけをお願いします。「最後までがんばった」という経験は、子どもの自信となり、新たなことに挑戦する第一歩やエネルギーになります。休み明けには、目標をたてて、それが実現し、自己肯定感がまた高まった子どもたちに会えることを楽しみに、私は夏休みを過ごします。ちなみに、私の夏休みの目標は、「元気に過ごすこと」と「たくさん本を読む」ことです。

そして、楽しく有意義に過ごすには、ご家庭でのルールづくりが必要になると思います。必ず、家に帰る時刻、宿題をする時間、家庭でのお手伝い、一人で行ってはいけない場所等、ルールを決めてください。一昔前までは、中学生以上のことかなと思われていたことが、小学生の間でも広まり、さまざまなところで危険なことが起こる可能性が高まっています。特に、携帯やスマホの使用によるトラブルや海水浴場・プールでのトラブルが夏休みには増えます。お子さんが、さまざまな事件やトラブルに巻き込まれ被害者にも加害者にもならないよう、携帯・スマホの使い方のルールを決め、ご家庭で確認してください。また、文部科学省から出されている「生命（いのち）の安全教育について」も配付しますので、参考にしてください。

学校では、「自分の命は自分で守る」ことや「いのちの大切さ」について、機会を捉えて伝えています。とくに、自由な時間がたくさんある人が多い夏休みは、その力がより必要になります。大人に守ってもらっただけでなく、自らも先を想像して正しい判断や行動がとれるようになってほしいと願っています。

夏休み明け、心と体にエネルギーをいっぱいためた子どもたちが、元気に学校に戻ってくるのを楽しみにしています。

